

件名： HDC-3100、HDC-3500、HDC-5000、HDC-5500 ソフトウェアV2.31リリースのご案内

- 発行元：ソニービジネスソリューション株式会社
- No.：2020-006
- 2020年3月
- 種別：バージョンアップ

対象モデル

HDC-3100、HDC-3500、HDC-5000、HDC-5500

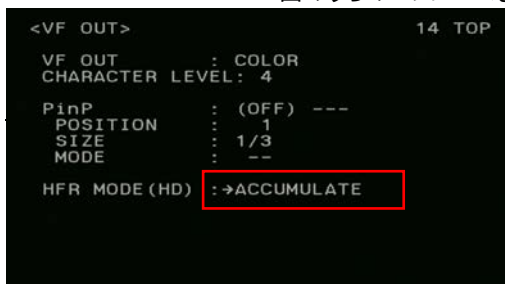
概要

ソフトウェアV2.31をリリースしましたので、ご案内いたします。

主な内容

【機能追加・変更】

1. CCU接続時、CCU出力から4K HDR、HD HDR、HD SDRを同時出力できる機能を追加しました。(全機種対象)
HDCU-5000/5500/3500/3100から、4K HDR、HD HDR、HD SDRを同時に出力できる機能を追加しました。
2. HKC-WL50装着した時に、HFR HD(x2,x3,x4) Format時のHDR出力選択できる機能を追加しました。
3. HFR FORMAT(2~8x)選択時、VFにSINGLE画を出力する機能を追加しました。(HDC-5500/5000のみ対象)
従来 HFR 時、VF 出力は ACCUMULATE 画を出力していましたが、SINGLE 画を出力する機能を追加しました。また、ACCUMULATE と SINGLE を下記<VF OUT>PAGE で選択することができます。
ACCUMULATE：HFR 画を加算した画を VF 画に出力する。(例：400P の場合は 8 枚の画を加算)
SINGLE：HFR 画のうちの 1 フレームを VF 画に出力する。被写体のモーションブラーを軽減できます。



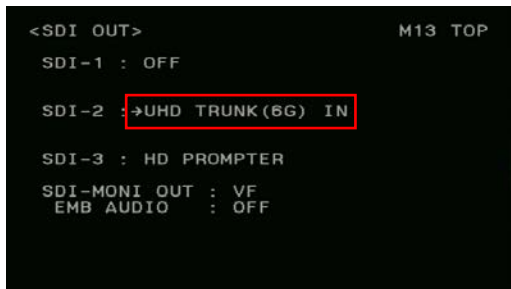
4. UHD TRUNK INの対応FORMATに3G-SDI/6G-SDIを追加しました。(HDC5500、HDC5000のみ対象)
UHD TRUNK INの対応 FORMAT に 3G-SDI/6G-SDI を追加しました。
HD TRUNK(12G) IN, UHD TRUNK(6G) IN, UHD TRUNK(3G) IN 機能は、下記 FORMAT, 設定時のみ SDI-2
で使用できます。

■UHD TRUNK IN の機能制約表

Format : HD(x1~x4), 4K x1

Network Trunk Data Rate(CCU 設定) : 100Mbps

| Format | HD(~240P) 4K(~60P) | | HD(300P~480P) 4K(100P/120P), |
|---------------------------|-----------------------|-------|---------------------------------|
| | (Network + Video) | | |
| Network Trunk | | | |
| Data Rate (CCU setting) | 100Mbps | 1Gbps | (1Gbps) |
| UHD Trunk(3G, 6G, 12G) IN | ○ | × | × |
| HD/UHD Trunk(1.5G) IN | ○ | ○ | ○ |



5. HDR Look機能追加及びOETFをOETF+HDR Lookに分離しました。(全機種対象)

HDR の Look を選択できるようにしました。

HDR Look は、Live, Mild, Natural の 3 タイプから選べます。

それにともない、メニュー構成を変更しています。

従来の OETF と新 OETF + HDR Look の対応関係は下図の通りとなります。

■ OETF/HDR Look 対応表

| Old | OETF | HLG_Live | - | HLG_BT.2100 | S-Log3 | - |
|-----------------|----------|---------------------|-----------------|-------------------|-------------------|-----------------|
| | | ⇕ | | ⇕ | ⇕ | |
| New | OETF | HLG | | | S-Log3 | |
| | HDR Look | Live Change | New Mild Add | Natural Change | Live Change | New Mild Add |
| Monitor Setting | | ITU-R BT.2100 (HLG) | | | S-Log3 (Live HDR) | |

例えば、

- ・従来のOETFでHLG_Liveの場合は、OETF:HLG, HDR Look:Liveを選択する。
- ・従来のOETFでHLG_BT.2100の場合は、OETF:HLG, HDR Look:Naturalを選択する。
- ・従来のOETFでS-Log3の場合は、OETF:S-Log3, HDR Look:Liveを選択する。

6. ダイナミックコントラスト機能を追加しました。(全機種対象)

OPERATION<DYNAMIC CONTRAST>PAGE にダイナミックコントラスト機能を追加しました。VF 出力(SDI MONI:VF 含む)のコントラストを強調し、高輝度領域やコントラストの低い被写体に対してフォーカスの状態を容易に判断できるようになります。

7. トランスポート変換機能を追加しました。(全機種対象)
 MAINTENANCE<SIMPLE PROTOCOL>PAGE に、カメラネットワークシステムプロトコルをセット内部で簡易プロトコルに変換する機能を追加しました。簡易プロトコルを使用することにより、無線伝送など、遅延の大きなネットワーク接続状態でもカメラ制御が可能になります。
8. EARPHONEのINCOM2連動機能を追加しました。(HDC5500,HDC5000,HDC3500のみ対象)
 EARPHONE の Receive 設定を INCOM1 連動固定から INCOM2 連動も選択できるよう機能追加しました。OPERATION <EARPHONE> PAGE で設定できます。

```

<EARPHONE>                23 TOP
RECEIVE SELECT: SEPARATE
INTERCOM : LEFT
PGM1     : RIGHT
PGM2     : RIGHT
PGM3     : ---
TRACKER  : LEFT
SIDE TONE: 50

OPERATION LINK : →INCOM2
MIX TALK(INCOM2): ENG
  
```

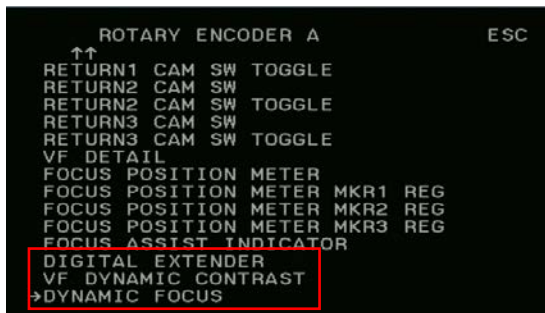
9. PGM3 音量制御に PGM2 ボリューム連動及び MENU 独立制御を追加しました。(全機種対象)
 PGM3 の音量設定を PGM1 ボリューム連動固定から、PGM2 ボリューム連動または MENU にて PGM3 独立で音量調整できる機能を追加しました。OPERATION <INTERCOM1 及び 2>PAGE で選択できます。

```

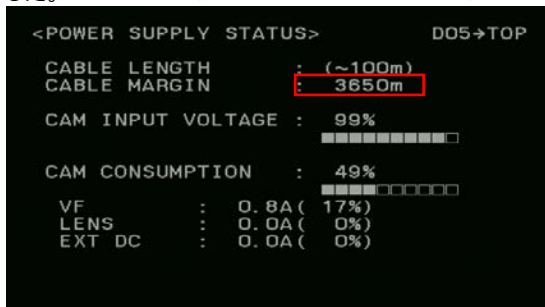
<INTERCOM1>              20 TOP
RECEIVE SELECT: SEPARATE
INTERCOM : LEFT
PGM1     : RIGHT
PGM2     : RIGHT
PGM3     : ---
TRACKER  : LEFT
SIDE TONE: 50

INTERCOM1/2 : SEPARATE
MIX TALK    : ENG
PGM3 VOLUME LINK: →MENU 50%
  
```

10. ARIA(周辺光量落ち補正機能)対応レンズを追加しました。(全機種対象)
 細かい設定を必要とせず、自動的に周辺光量落ち補正を行う機能です。対応するレンズは下記の通りです。
 Canon 大型
 UJ27x6.5B, UJ66x9B, UJ86x9.3B, UJ90x9B, UJ111x8.3B, UJ122x8.2B
 Canon ポータブル
 CJ12ex4.3B, CJ20ex7.8B, CJ25ex7.6B, CJ45ex9.7B, CJ45ex13.6B,
 CJ14ex4.3B, CJ15ex4.3B, CJ18ex28B, CJ18ex7.6B, CJ24ex7.5B
 Fujinon 大型
 UA70x8.7BESM, UA80x9.0BESM, UA107x8.4BESM, UA27x6.5BESM
 Fujinon ポータブル
 UA13x4.5BERD-S9, UA13x4.5BEZD-T9, UA14x4.5BERD-S6, UA14x4.5BEZD-T58,
 UA14x4.5BEZD-T9, UA18x5.5BERD-S6, UA18x5.5BEZD-T58, UA18x5.5BEZD-T9,
 UA22x8.0BERD-S8, UA24x7.8BERD-S6, UA24x7.8BEZD-T9, UA46x9.5BERD-G1,
 UA46x9.5BERD-U1, UA46x13.5BERD-G1, UA46x13.5BERD-U1
11. モートフランジバック調整機能を追加しました。(全機種対象)
 リモートフランジバック機能対応レンズを装着時、Zoom、Focus に加えて、Back Focus もパネルから操作できる機能を追加しました。下記手順で設定できます。
 ・パネルの Maintenance→Lens→Back Focus ページにて、Active を On にする
 現在、この機能に対応しているレンズはありません。レンズ側の対応時期に関しては、各レンズメーカーにお問い合わせください。
12. ASSIGNABLE ボタン A, B, C にアサインできる項目を追加しました。(全機種対象)
 OPERATION <REAR FUNCTION ASSIGN>にて、A/B/C PUSH に“Dynamic Focus”, “Digital Extender”, “Dynamic Contrast”をアサイン可能にしました。



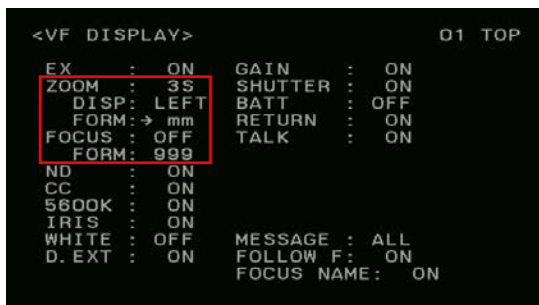
13. CABLE MARGIN 表示機能を追加しました。(HDC3100,HDC3500,HDC5500,HDC5000 のみ対象)
CCU 接続時、Fiber ケーブルがどれだけ伸長できるかの目安値(CABLE MARGIN)を表示する機能を追加しました。DIAGNOSIS <POWER SUPPLY STATUS> PAGE にて確認できます。



14. BOX CURSOR のメモリ数を拡張しました。(全機種対象)
BOX CURSOR のメモリ数を 3 つから 4 つに拡張しました。

15. VF DISPLAY Zoom/Focus に実単位表示を追加しました。(全機種対象)

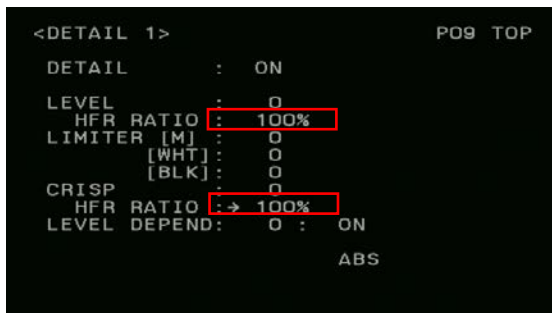
ズーム距離 mm 表示と Focus 距離の m 表示を追加しました。
また、Focus、Zoom 表示の分解能を増やしました。



16. HFR 画の Detail 及び CRISP を標準速画とは独立に調整できる HFR RATIO 機能を追加しました。

(HDC3500,HDC5500,HDC5000 のみ対象)

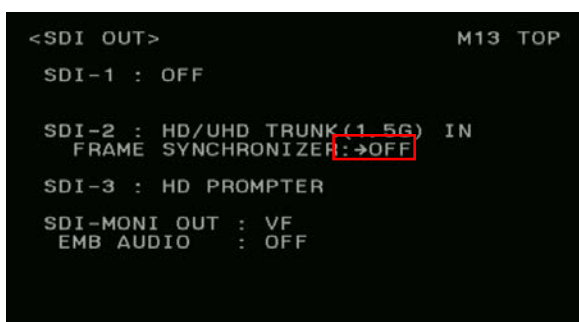
標準速画とは独立に HFR 画の Detail Level 及び Crisp を調整できる HFR RATIO 機能(0 ~199%)を追加しました。HFR 時は GAIN をあげて運用することが多いが、その際 HFR 画に Detail がつきすぎてしまうと感じる場合は、同機能を使うことで HFR 画の Detail を下げることができます。以下 PAINT <DETAIL 1> PAGE で設定ができます。



17. UHD/HD TRUNK に対する FRAME SYNCHRONIZER OFF/ON 機能を追加しました。

(HDC5500,HDC5000,HDC3500,HDC3100 のみ対応)

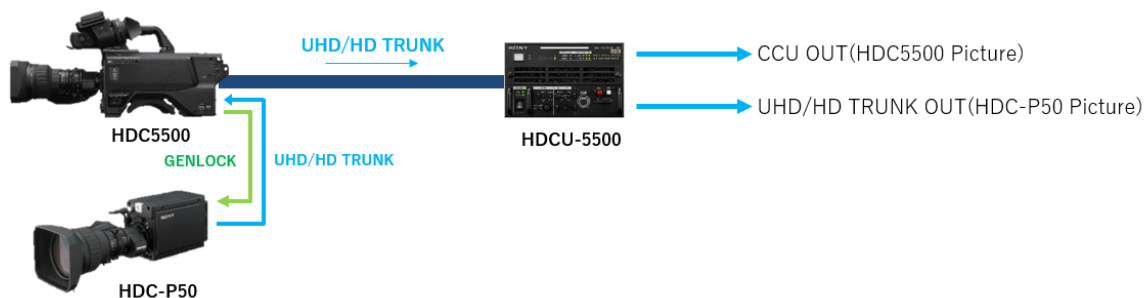
MAINTENANCE <SDI OUT> PAGE にて、UHD/HD TRUNK の FRAME SYNCHRONIZER OFF 機能を追加しました。



UHD/HD TRUNK を FRAME SYNCHRONIZER OFF で使用する際、UHD/HD TRUNK 信号自体の位相を調整する必要があります。

例えば以下システムでは、HDC-P50 の MAINTENANCE <GENLOCK> PAGE にて CCU OUT と位相が合うように調整が必要です。

UHD/HD TRUNK の活用例 (HDC-P50 の信号伝送)



18. CCU で RETURN 5~8 未使用時、CAM にて RETURN5~8 を選択できない仕様に変更しました。

CCU にて RETURN5~8 のうち、使用していない RETURN は、CAM にて選択できないように変更しました。
(選択できてしまうと RETURN の選択肢が増え、操作が煩雑になる為。)

19. HDR MODE: Live HDR の時の Hyper Gamma の仕様を変更しました。

HDC-4300 と同様に、Hyper Gamma1~4 のどれを選んでも顔色のレベルが変わらないように内部で Gain 調整しました。HDR MODE: OFF 時の仕様は変更していません。

【修正機能】

1. HDC3100にて、HD TRUNKにAncillary Dataが重畳されるよう修正しました。
2. HDR Format かつ GAMMA TABLE を HYPER に選択時、AWB を実施するとエラーしないように修正しました。

対応方法

本作業は、修理・点検時に、お客様とのご相談のうえ、弊社にて実施させていただきます。
ご希望の際には弊社サービス担当者へご相談ください。

料金案内

本バージョンアップは、無償にて実施いたします。

※ご注意:特注ソフトをお使いの場合は、別途お見積りが必要です(有償)。

この情報は、2020年3月現在のものであり変更されることがあります。

なお、本件に対するお問い合わせは、担当サービスまたは担当営業へお願いいたします。